上天草市立龍ヶ岳小学校 学校だより



# 龍っ子だより

第14号 令和6年2月27日 文責:校長 村田 賢治 ☎62-0504(龍ヶ岳小)

学校教育目標:「夢の実現」に向け挑戦、そして成長

~ KKJ 気づき・考え・実行する龍っ子の育成~

# 熊本県学力・学習状況調査の結果

12月5日(火)、7日(木)に3年生以上の児童を対象に、「熊本県学力・学習状況調査」を実施しました。この調査には、国語と算数の学力に関する調査と、生活や学習習慣等の状況に関する調査があります。その結果が出ましたので、概要をお知らせします。

#### 学力調査について

3年生と5年生は、国語も算数も県平均や全国平均を上回る良好な結果でした。4年生は、国語がわずかに全国平均を下回りましたが、算数は全国平均を上回りました。6年生は、国語も算数も全国平均を下回りましたが、昨年度と比較すると差が小さくなりました。授業の改善や朝の学びの時間と家庭学習の充実を図ってきた成果が出てきていると感じています。

国語では、全学年を通して「読むこと」に課題があることが分かりました。さらに、「文章から抜き出して記述する」問題の正答率が低いことも分かりました。

算数では、折れ線グラフを見て考えたり、平均値を使って全体を予想したりするなどのデータを活用することに課題があることが分かりました。また、自分の言葉で論理的に説明する力が十分身に付いていないことも分かりました。

今後は、検査結果を配付する時に児童一人一人と担任が面談を行って、理解できている内容と苦手としている内容を児童に説明し、苦手な箇所を克服するためのプリントなどに取り組ませ、苦手なままにさせないようにしていこうと考えています。

#### 生活・学習習慣等について

全学年共通して良好だったのは、「学習意欲」「学習習慣」「対話・話し合い」「感動体験」でした。「学習意欲」は昨年度まで低い傾向にあり、本校の課題でもありました。少しずつですが、子供たちの学習に向き合う姿勢が向上してきていると考えています。

全学年共通した課題だったのは「対人ストレス」で、これは意外でした。普段の学校生活を見ていると、お互いのことを思いやる言動ができており、楽しそうに過ごしているからです。しかし、実際には、友達との関係がこわれてしまうのではないかという不安感を持ちながら生活していることが想像できます。今後、子供たちの人間関係に十分注意しながら指導していく必要があると考えています。また、「生活習慣」については、4年生以上で課題が見られます。テレビやゲームの時間を少なくして、「早寝・早起き・朝ご飯」で規則正しい生活を心がけてほしいと思います。

## 長縄とびにチャレンジ

天草郡市小体連主催の「長縄大会チャレンジ」に、全学年 が挑戦しました。3分間に何回跳べるかを競うものです。

各学年、体育の授業や朝の活動の時間を使って猛練習を 積んでいました。最高記録は、2年生の215回でした。

## 「あまくさ」に入賞しました

文集「あまくさ」は、「天草の子供たちの生活文や感想文などを長く残し、のちの子供 たちに読んでほしい」「作文の勉強に役立てて、素晴らしい作品を創り出してほしい」と いう願いから始まった50年以上続く歴史と伝統のある文集です。

本校からも、多くの子供たちが詩や生活文を出品し、特選に3人、入選に3人の子供 たちが入賞しました。おめでとうございます。以下に特選を受賞した3人の子供たちの 作品を紹介します。なお、入選者は1年生の佐々木健太郎さん、浦中美月姫さん、鳩野 陽葵さんでした。

もその宝の

さえずる小鳥を温かく出むかえる南のしずくをかがやかせてやれていた枝葉はかれていた枝葉はあんなに暗かった空はまんなに暗かった空は あめあがりの 砂一つ一つが<sup>ロ</sup> めあがりの「今」は一つ一つが宝石のよう めあが Ш 奂

いたくなくなった。「いたくない。」ときいた。みんなが、ときいた。はんそうこうをくれた。ゆいとくんが ありがとう。 ありがとう。 やさしくしてく やさしくしたい。

ット、遠くからのシュートがよくできころを見つけました。リバウンド、ピボーわたしは、たくさんみんなのいいと てきたことなどです。 て二階のおうえん席で、試合のおうえ新人戦は、三日目に入りました。初め た。たくさん勉強になりました。 できていたので、 んをしました。 きていたので、すごいなと思わたしができないことを、み した。それは、新人戦という大切な試でも、とてもくやしい気持ちもあり いんな

がいっぱいでした。した。わたしはその日新人戦で右手をこっわたしは、六月二 ゖ が をしたく ゃ 匹 L

み

なと出られなかっ

たという

いたくて すこしないたバスていにいくときにあさ、

つこけ

あ IJ が とう

てらみちはるひ

ティッシュをくれた。 しゅうやくんが

「みんなと遊べない。字も書けない。泳ました。この時までのわたしは、わたしは、この時みんなにすくわれいたからです。かというと、みんなが心配してくれてかというと、みんなが心配してくれてかというと、みんなが心になりました。なぜ こういう声が聞こえてきました。 「みくちゃん だいじょうぶ。」 っぱいでした。次の日学校に行く。わたしはその日、ケガのことで頭戦で右手をこっせつしてしまいまたしは、六月二十五日のバスケの てぜ わたしは、

して、なさけないと思いながら、練習やいか不安だったのです。と、いつもやくそくしていました。そのと、いつもやくそくが守れないから、どうすればいかが不安だったのです。ったしは友達と、「たくさん練習しようね。」 して、なさけないとのことです。わたしてはを達と、「たくさん練習しようね。」 でも、一つだけのこっている不安が 試合を見ていました。して、なさけないと思いながら、 でした。でも、みんなのやさしい声を聞ぐこともできない。」という不安だらけーみんなと遊べない。字も書けない。泳 くと不安がなくなったのです。 よかったです。くてえがおいっ

3月の主な行事

4日(月) 読み聞かせ 委員会活動

8日(金) お別れフェスタ

11日(月)教育講演会

14日(木) 卒業式予行練習

15日(金) ドラゴン会議

21日(木)修了式

22日(金) 卒業証書授与式

26日(火) 退任式

ました。 のですが、みんな練習をがんばっていったの一週間という短い期間だった あ人戦二日目から三日目の間は、た いなるといいなあと思いながら練習いたしは、ガードとしてみんなのため 「きついー。」とこうとうにいるすがたは、とてもきれいでいるすがたは、とてもきれいでいました。いました。」と言いながらやっていました。」と言いながらやっていました。 ことができました。んなのおかげで安心してプレーするりました。ケガがなおったあとも、みしばらくして、わたしのケガはなお 世界じゃなくてよかったです。 どがたくさんありました。自分一人の してよかったこと、くろうしたことなケガをして、気づいたり分かったり で て て言